学校番号	４０７

令和３年度　国語科

教科	国語	科目	現代文Ｂ	単位数	３単位	年次	３年次
使用教科書	「標準現代文Ｂ」　（第一学習社）						
副教材等	「精選速修常用漢字」（文英堂）・「国語必携パーフェクト演習」（尚文出版）						

１　担当者からのメッセージ（学習方法等）

・社会人に必要となる基礎的な国語の力を身に付けることを心がけましょう。年間と通じて漢字テストも行います。
・文章記述、発表などを取り入れた授業を行います。
・様々な文章を「読む能力」を向上させるとともに、コミュニケーションのための「話す・聞く能力」や意思を伝えるための「書く能力」をしっかりと身に付けてください。
・授業中は、しっかり指示を聞いて「自分の頭で考える」ことを大切にしましょう。
・提出物の期限は守りましょう。定期考査は学習計画を立てて臨んでください。

２　学習の到達目標

・目的や場にふさわしい語句を選んで、適切に思いや考えを表現することができる。
・目的や場に応じて的確に文章の内容や構成、登場人物の心情を理解することができる。
・基本的な漢字や語句を理解し、正しく使うことができる。
・人間関係において、互いを尊重し、相互理解を深め、正しく意思を伝えることができる。
・論理的な思考力、豊かな想像力を場面に応じて活用することができる。

３　学習評価(評価規準と評価方法)

観点	a:関心・意欲・態度	b:話す・聞く能力	c:書く能力	d:読む能力	e:知識・理解
観点の趣旨	伝え合う力を進んで高めるとともに、言語文化に対する関心を深め、国語を尊重してその向上を図ろうとする。	目的や場に応じて効果的に話し的確に聞き取ったり、話し合ったりして、自分の考えをまとめ、深めている。	相手や目的、意図に応じた適切な表現による文章を書き、自分の考えをまとめ、深めている。	文章を的確に読み取ったり、目的に応じて幅広く読んだりして、自分の考えを深め、発展させている。	言葉の特徴やきまり、漢字などについて理解し、適切に使うことができる。
評価方法	行動の観察 記述の点検 （ノート、ワークシート等）	行動の観察 （発表等のパフォーマンスの評価）	記述の確認及び分析 （ワークシート、原稿用紙）	記述の確認及び分析（ワークシート） 定期考査	行動の観察 記述の確認 （ノート、ワークシート等） 定期考査 小テスト

上に示す観点に基づいて、学習のまとまりごとに評価し、学年末に５段階の評定にまとめます。
学習内容に応じて、それぞれの観点を適切に配分し、評価します。

4　学習の活動

学期	単元名	学習内容	主な評価の観点					単元(題材)の評価規準	評価方法
			a	b	c	d	e		
1学期	世界を見つめる	教材 「ワスレナグサ」	◎		○		○	a:「自然」と「人間」に対する関心を深める。 c:作品の読解を契機に、自分とその周囲について認識しなおし、将来の生き方に対する考察を深める。 e:筆者の考えを理解する。	a e : 行動の観察 c : 記述の確認
	新しい視点	教材 「物語を発現する力」	○			◎	○	a:筆者の主張を、自分の体験に重ねて読解する姿勢を持つ。 d:指示語の指示内容をおさえて読解する。 e:接続語に注意して、論の展開の構造を整理する。	a : 行動の観察 de:記述の確認
	小説を読む	教材 「山月記」	○	◎		○		a:現代とは異なる時代背景や設定について関心を深める。 b:感想文や主人公のその後について文章を書き、話し合ったり発表したりする。 d:普段使わない漢字や語句について理解する。	ab:行動の観察 be:記述の確認
2学期	詩を味わう	教材 「食事」 「こころ」 「日本海」	○	◎			○	a:近現代の詩人の作品に親しむ。 b:自分で詩を制作し、発表する。 e:詩の技法・レトリック(修辞)を学ぶ。	ab:行動の観察 e:記述の確認
	現代と文化	教材 「コミュニケーションの文化」	○			○	◎	a:異文化と異文化ｺﾐｭﾆｹｰｼｮﾝの在り方について理解する。 d:指示語の指示内容をおさえて読解する。 e:異文化間における相互理解のあり方について考える。	a : 行動の観察 de:記述の確認
	小説を読む	教材 「話を聞かせて」	○	◎				a:現代とは異なる時代背景や設定について関心を深める。 b:登場人物の会話や心情の変化などについて考え、話し合ったり発表したりする。	ab:行動の観察

2学期	生への思索	教材 「経験の教えについて」	○			◎	○	a:「経験に学ぶ」ことの大切さを学ぶ。 d: 論理的文章の構成の型を知り、正確に読み取る。キーワードに留意して抽象的な表現を理解する。 e:指示語や接続語に注意を払って読む。	a:行動の観察 de:記述の確認
3学期	言語活動	教材 「情報の探し方」 「意見文の書き方」		○	◎			b:必要な情報をどのように入手するか学ぶ。 c:自分の考えを整理し、相手に伝わるように書く。	b:行動の観察 c:記述の確認
	小説	教材 「卒業」	○	◎	○			a: 読解を通じて、働くことや大人になることについて考える。 b: 登場人物の会話や心情の変化などを通じて、「大人」として働くことや、友情についてどのような思いを抱くようになるのかを読みとる。 c:読解を通じて自分の将来の姿などについて考える。	ab:行動の観察 c:記述の確認

※　表中の観点について　a:関心・意欲・態度　b:話す・聞く能力
c:書く能力　d:読む能力　e:知識・理解

※　原則として一つの単元（題材）で全ての観点について評価することとなるが、学習内容（小単元）の各項目において特に重点的に評価を行う観点（もしくは重み付けを行う観点）について○を付けている。